

**ヘルスマイトの  
おしゃべり  
コーナー**

■食中毒は年中発生していますが、冬季にはウイルスを原因とするものが多く、夏場は高温多湿な環境で、細菌を原因とする食中毒が多発する時期です。そこで8月を「食品衛生月間」として、全国で食中毒予防のための啓発活動が実施されています。

■食中毒予防の3原則は「つけない」「増やさない」「やっつける」です。令和元年度の食中毒発生施設別件数では、飲食店54.7%、不明15.3%に次いで家庭が14.2%で第3位となっています。また、野外で調理する機会も多くなる夏場は、食品の管理や調理器具の取り扱いには十分注意して食中毒を予防しましょう。

- つけない**
  - 手洗い
  - 道具と食品の区別
- やっつける**
  - 中心部75℃以上1分以上加熱
- 食中毒予防**
  - 食材の温度管理

## 交通安全ニュース

### コロナでも事故防止!!

コロナ対策もしながら徐々に訪問活動を実施しています。



まだまだコロナ流行前と同様の積極的な活動はできませんが、3密を避けながら少しずつ訪問、面接を実施しています。

安全教室や行事については、警察主催での実施予定はありませんが、地域やグループの集まりなどからお声をかけていただいた時は参ります。

今後も皆さまのご理解とご協力をお願いします。

#### 今月の県安日

20日  
木曜日

有効期限内の【受講修了証】をお持ちの方は、協賛店でのお買い物などで特典（サービス）を受けましょう。



#### 高知東警察署本山警察庁舎

高齢者交通安全アドバイザー 上池

☎ 0887-76-0110

#### 「高齢ドライバーの事故増加について」

自損型が多い  
↓  
《事実》  
ちょっとしたことが事故を招いている



- 長年の運転経歴、経験、技術を過信しない
  - 身体機能の衰えを自覚する
  - 体調の変化に敏感になる
  - 運転するときは運転に集中する
- とっさの判断、行動ができにくくなっていることを認識することが大切です。
- 普段とは違う、眠気を感じる場合などは躊躇せずに外出を控えましょう。
- 信号を守る、車に乗ったらシートベルトを着用することを当たり前に。
- 運転中にはほかの事をすることが、重大事故につながることが多いことを忘れずに。

教育委員会だより

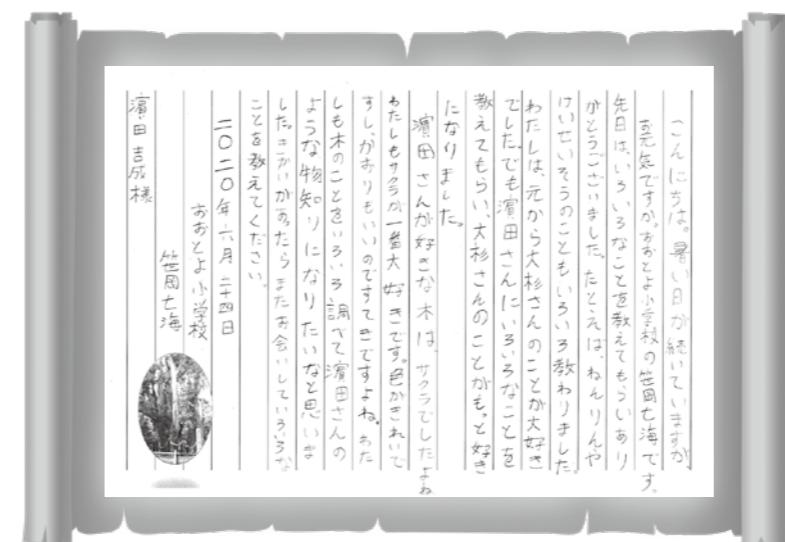
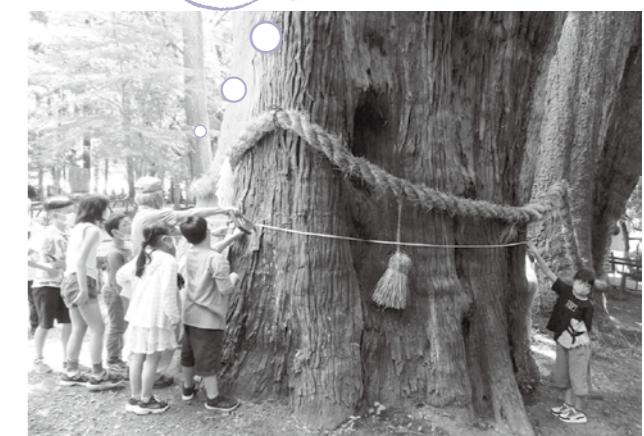
## 大杉さんについて樹木医さんに教えていただきました

6月23日(火)、おおとよ小学校4年生が総合的な学習の時間で、樹木医の濱田吉成さんから樹木医の仕事や大杉さんについて教えていただきました。

「樹木医は高知県に9名しかいない」「木は皮との間にある管を通って水分が送られる」などのお話を教室で聞いた後、実際に大杉さんに行って、幹回りを自分たちで測り、「平成13年に調べてもらったら、宿り木が南杉に33種類、北杉に13種類あった」ことなどを教えてもらいました。



どれくらいあるのかな?



おおとよ小学校を毎日見守ってくれている「大杉さん」をはじめ、おおとよ小学校と大豊町中学校では、ふるさと大豊町のことを学習しています。

